採用案内

（建築職・電気職・機械職）

官庁営繕

－ 国の建物をつくり、活かす －

国土交通省　北陸地方整備局　営繕部
Ministry of Land,Infrastructure,Transport and Tourism
Hokuriku Regional Development Bureau,Government Buildings Development

金沢営繕事務所
Kanazawa Government Buildings Office

営繕部の業務

「国の建物をつくり、活かす」

全国各地に、国が行政を行うための国家機関の施設（合同庁舎、税務署、ハローワーク、法務局など）があります。

これら官庁施設の整備や保全に関する仕事が「官庁営繕」です。

官庁施設は、行政サービス提供の場としてだけでなく、災害時の防災拠点や、地域の交流拠点としての役割を担っています。

私たち営繕部では、官庁施設がこれらの役割を果たし、また、より良質な建物となるよう、施設整備の企画立案から、設計、積算、施工、保全の指導に至るまで、トータルコーディネーターとして仕事を行っています。

また、公共建築分野での先導的な役割を果たすべく、ほかの発注機関（県や市町村）に対して、国の施策の展開や各種取組の情報提供を行っています。

※営繕とは、「建築物の営造と修繕」のことをいい、建築物の新築、増築、改築、修繕、模様替等の工事を指します。

官庁営繕のミッション、ビジョン

国土交通省の官庁営繕では、「ミッション（根幹的使命）」と「ビジョン（目標）」を定めており、コンプライアンス（法令・社会規範の遵守）を前提に、これらの実現に向けて具体的な取組を実施しています。

ミッション（根幹的使命）

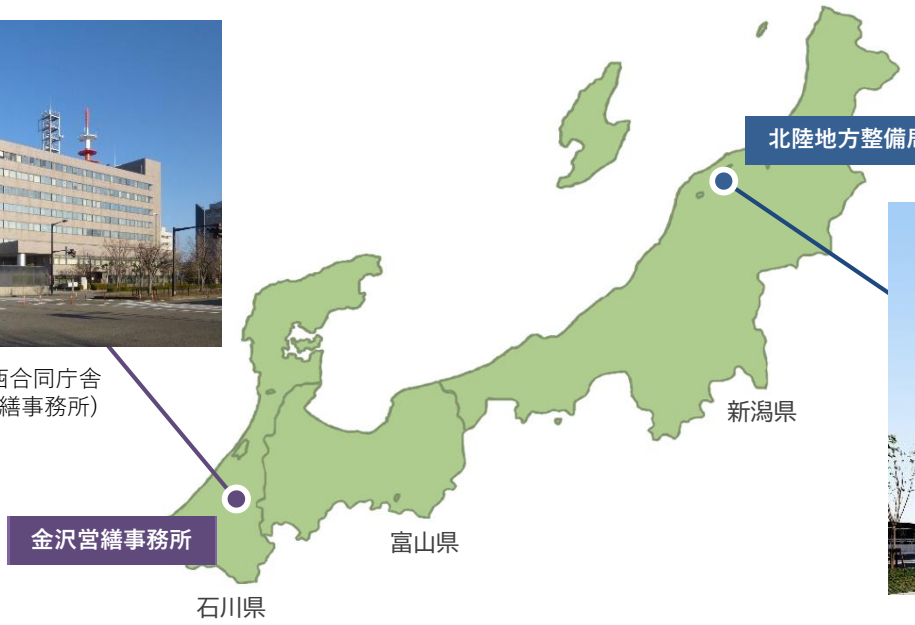
国民の共有財産である官庁施設に関して、良質な施設及びサービスを効率的に提供し、公共建築分野において常に先導的な役割を果たす。

ビジョン（官庁営繕の目標）

公共建築分野のリーダーとして時代のニーズなどに的確に対応し、官庁施設に関し、成果主義の観点から顧客に提供するサービスの価値を効率的に最大化すること。そのために、組織と職員の核心的能力を高める。

北陸地方整備局 営繕部の体制・管内図

金沢駅西合同庁舎
(金沢営繕事務所)



新潟美咲合同庁舎1号館
(北陸地方整備局 営繕部)

北陸地方整備局　営繕部

「官公庁施設の建設等に関する法律」に基づき、新潟・富山・石川県内の官庁施設の整備に係る事業の企画、設計・積算、工事発注などを行っています。また、新潟県内の官庁施設の工事の監督業務や施設の適正な使用と維持管理のための保全指導などを行っています。

北陸地方整備局 営繕部 計画課	事業の企画、予算管理、長期構想の立案など
北陸地方整備局 営繕部 整備課	施設の設計・積算や設計基準の作成など
北陸地方整備局 営繕部 技術・評価課	工事の発注や完了検査の実施など
北陸地方整備局 営繕部 保全指導・監督室	新潟県内の工事監督や保全指導など

北陸地方整備局　金沢営繕事務所

富山・石川県内の官庁施設の工事の監督業務や、施設の適正な使用と維持管理のための保全指導などを行っています。

金沢営繕事務所 総務課	総務、予算、厚生、工事契約など
金沢営繕事務所 技術課	営繕工事の企画及び立案、設計・積算、工事監督 官庁施設の保全指導、実態調査など

土木営繕

土木営繕では、北陸地方整備局の事務所（営繕事務所・港湾空港関係を除く）が実施する建築物全般の整備に関する業務を行っています。具体的には、道の駅、整備局の事務所・出張所の庁舎・宿舎、河川・ダム管理施設等を整備しています。

営繕部の業務の流れ

企 画

企画・立案

官庁施設の建設や改修などの営繕計画を企画・立案するに当たり、庁舎に必要な機能や性能、既存の庁舎に現れている不具合の状況などを把握します。入居官署との打合せや既存庁舎の調査結果を踏まえ、機能や性能などを検討し、必要な建物性能を決めます。

予算管理・事業総合調整

関係機関と調整を行い、予算要求作業を行います。

事業の実施に当たっては、設計や工事を予定通り進捗させるためのマネジメントを行います。事業に問題が発生した際には、事業費やスケジュールへの影響の把握や対応策を講じるための総合調整を行います。

敷地調査

予定敷地の地層調査や、電気・ガス・水道などの引き込み位置などを確認します。

設 計

技術基準類の整備

災害に対する安全性の確保、環境への配慮など、社会的要請に的確に対応できるよう、設計を進める上での骨格となる技術的事項等を定めた基準類の作成・改定などを行います。

設計業務の発注

立案した営繕計画を設計するため、プロジェクトの視点や性能の水準など業務実施に必要な与条件を企画書として整理し、計画実現に最も適した設計者を選定します。

工事発注図面の作成・積算

現地調査の実施、企画意図の伝達など、設計者との調整を行います。

設計者の作成する図面が、基準・要望を満たしているか審査を行うなど、設計者と協力し、より良い設計を目指します。

施 工

工事の発注・工事監督

設計図を基に工事を建設会社に発注します。

監督職員は現場で施工の実施状況を確認します。

設計担当の職員は、工事受注者に設計のイメージを伝えるなど必要な調整を行います。

庁舎の完成・検査

工事が完了すると検査を行います。検査の結果が問題なければ完成となり、施設を使用する施設管理者に引き渡します。

その後は、定期的に保全の支援等を実施していきます。

保 全

保全

「保全」とは建築物が完成してから取り壊されるまでの性能や機能を良好な状態に保ち、社会・経済的に必要とされる性能・機能を確保し、保持し続けることをいいます。営繕部では施設管理者への保全に関する指導や、会議・講習会などを通じ、保全に必要な情報の周知を行っています。

実態調査

官庁施設を機能性、耐久性、防災性能などの観点から調査・診断するための実態調査を定期的に実施し、営繕計画の基礎資料を作成します。

営繕部の技術者

営繕部では、建築職、電気職、機械職それぞれの専門性を活かしながら連携し、チームとして業務を行い、官庁施設の整備にあたっています。

建築職：総合調整、景観計画・建築計画・構造設計などを担当
電気職：照明設備・通信設備などを担当
機械職：空調設備・給排水衛生設備などを担当

建築設備（電気設備、機械設備）

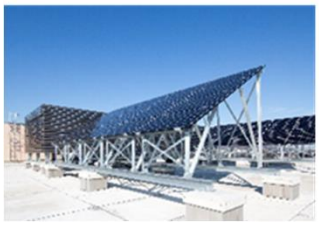
建築設備は建築物の基本的機能を支える重要な役割を担っています。
電気設備には照明設備、受変電設備、太陽光発電設備、自家発電設備など、
機械設備には空調設備、給排水設備、衛生設備、エレベーター設備など、があります。

建築設備の設計では、適切な容量を設定し、快適性を考慮したうえで、関連する法令に基づく機器選定等をする必要があります。

電気設備

照明設備

受変電設備


太陽光発電設備

自家発電設備

など

機械設備

空調設備

給排水設備

衛生設備

エレベーター設備

など

建築設備担当の出身学科

営繕部で建築設備を担当している職員は、建築系以外の学科出身の方も多く、採用当初、建築や建築設備に関しては初心者であったとしても、仕事を進めていく中で必要な知識を身に付け、専門性を深めていく方がほとんどです。
建築設備に興味を持たれた方、北陸地方整備局営繕部で一緒に働いてみませんか？

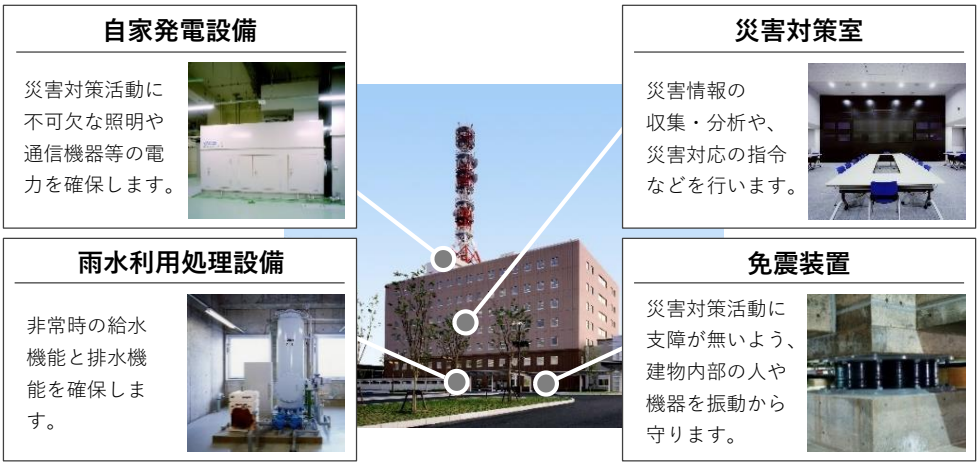
営繕部の取組

防災・減災

■耐震化の推進

営繕部では、官庁施設について、総合的な耐震性を確保する整備を行っています。

また、災害応急対策活動を担う国家機関が入居する官庁施設については、災害時に関係機関との円滑な連携が行えるよう、防災拠点としての整備を進めています。



▲　新潟美咲合同庁舎1号館の防災機能

■津波対策

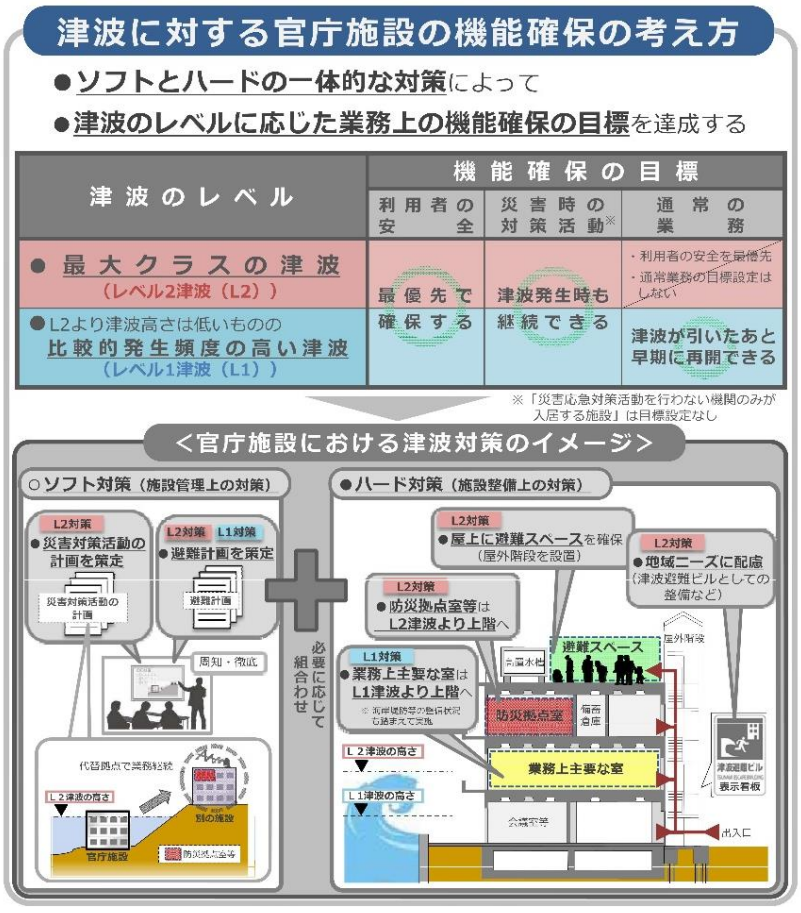
東日本大震災の被災を受け、関連基準等の拡充、施設運用管理と施設整備の連携による官庁施設の機能確保等の取組を推進し、津波対策の強化を行っています。

整備事例

佐渡海上保安署（新潟県佐渡市）

佐渡海上保安署は、耐震性・対津波対策を考慮するとともに、周辺地域と調和した景観形成や、立地する両津港地区の津波避難計画と整合し、地域に寄与する整備を図りました。

この庁舎は「津波避難ビル」として使用する協定を佐渡市と締結しており、万が一の際、屋上に最大で200人が避難できるスペースが整備されています。



▲　津波に対する官庁施設の機能確保の考え方

環境対策

■木材利用の推進

「脱炭素社会の実現に資する等のための建築物等における木材の利用の促進に関する法律」に基づく基本方針では、国が整備する公共建築物で原則木造化と可能な限りの内装木質化を図ることが規定されています。

営繕部では木造化の徹底と内装等の木質化の推進に取り組んでいます。

▲ 木造化した庁舎の事例
（下越森林管理署村上支署）

▲ 内装を木質化した庁舎の事例
（石川運輸支局）

■環境負荷低減に配慮した整備

建築物は、その計画から建設、運用、破棄に至るまで温室効果ガスの排出等、環境に負荷を与えています。国土交通省では、ライフサイクルを通じた環境負荷の低減を目指し、我が国の建築分野における環境対策の模範となる環境負荷低減に配慮した施設整備を推進しています。

環境負荷低減に配慮した施設整備として、エネルギー使用量等を抑制・削減するために様々な環境技術を導入しており、LED照明器具やトップランナー機器等の新技術の導入や、太陽光発電等再生可能エネルギーの活用に向けた取組も行っています。

また、水資源の有効利用を図る観点から、雨水利用・排水再利用設備の設置に取り組んでいます。

環境負荷低減への取組み

自然エネルギーの利用
- 太陽光発電
- 自然換気・自然光利用

負荷の低減
- 断熱性、気密性の向上
- 庇等による日射の遮断
- 高性能ガラス、複層ガラス

長寿命
- 大部屋方式（乾式間仕切り等の採用で内部機能の変化に対応）

エネルギー・資源の有効利用
- LED照明
- 昼光利用
- 初期照度補正
- 人感センサ
- 高効率熱源
- 変風量制御
- 変流量制御
- 適正な運転制御、監視システム

自然共生社会の形成
- 構内緑化等
- 雨水利用

適正使用・適正処理
- 建設副産物の発生抑制
- 建設発生土の適正処理

エコマテリアル
- VOC対策の徹底
- 木材利用
- リサイクル材料の利用

▲太陽光発電
（石川運輸支局）

▲LED照明
（高岡公共職業安定所）

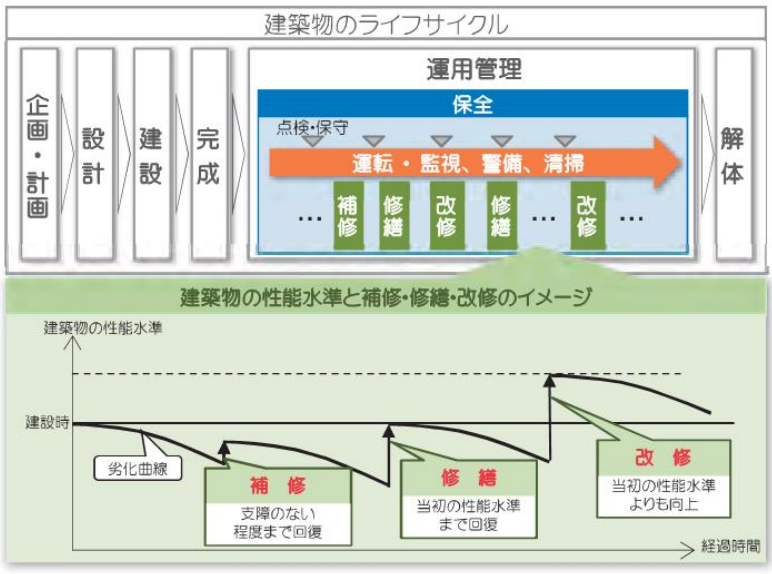
▲ルーバーによる日射の遮断
（石川県警察機動隊）

保全・長寿命化

「保全」とは、建築物が完成してから取り壊されるまでの間、安全性や執務環境等の性能や機能を良好な状態に保つほか、社会・経済的に必要とされる性能・機能を確保し、保持し続けることをいいます。

現在、築後30年以上の官庁施設が全体の約50%を占め、今後も増加することが予想されることから、適正な保全を確実に実施していくことが求められています。

国土交通省では、「官庁施設情報管理システム(BIMMS-N)」を導入し、インターネットを通じて、すべての官庁施設の基本的な保全情報等を把握・分析しています。

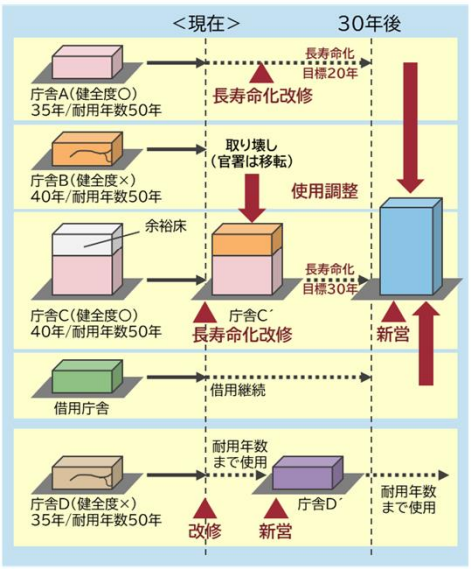


▲ 建築物のライフサイクル

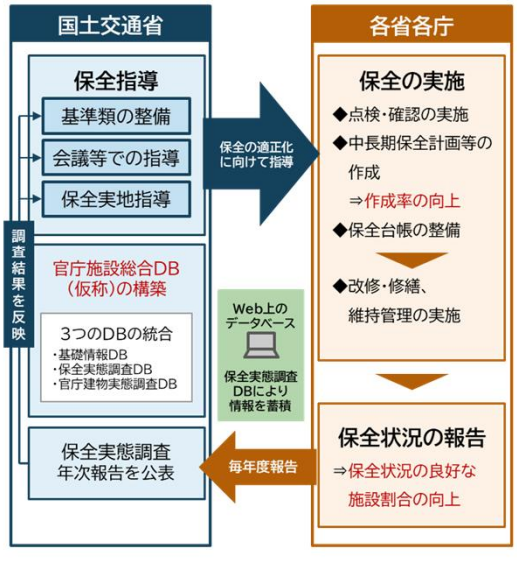
1．一定地域内の既存官庁施設について、建て替え、使用調整、長寿命化改修等を組み合わせた、最適な長期計画の策定とそれに基づく官庁施設の長寿命化に資する整備を図ります。
　取組の推進に当たっては、財務局や地方公共団体と連携を図ります。
2．保全指導の一層の強化により、適正かつ計画的な保全を推進し、施設の長寿命化を図ります。
3．施設の現状をより詳細に把握する「施設カルテ」に基づく技術支援を行うことにより、既存官庁施設の徹底利活用を図ります。

ソフトとハードの両面からの総合的な対策を実施することにより、来訪者等の安全の確保とサービスの円滑な提供を維持すること並びにトータルコストの縮減と予算の平等化を図ることを目標とします。

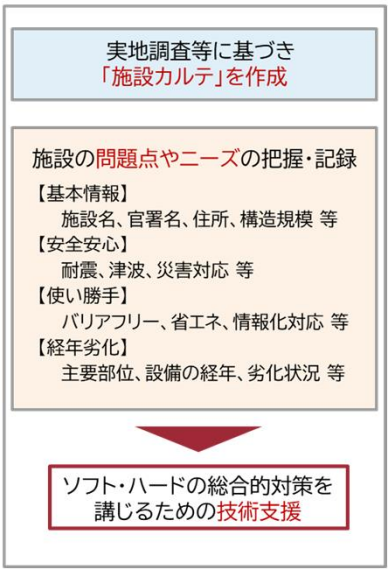
1.中長期計画に基づく長寿命化改修等の実施



2.保全指導の一層の強化



3.施設カルテ作成に基づく技術支援



地域との連携

公共建築は様々な場所で行政・教育・文化・福祉など重要な役割を担って建てられています。そのため、施設の整備、運営のあり方などを地域と連携し創りあげていくことが重要となります。

官庁施設の整備にあたってはその地域の特性やニーズを踏まえ、地方公共団体など地域と連携し、良好な街並みづくりに貢献するための施設整備に努めています。

また、官庁施設の整備や地域の地区整備など将来的な構想も踏まえ、地域の行政機関等と情報交換を行っています。

連携等に関する取組み事例

- 長岡防災シビックコア地区の整備
- 景観等検討会（佐渡海上保安署）
- 小松市のまちづくりに寄与する合同庁舎を考える会（小松日の出合同庁舎）
- ユニバーサルデザインレビュー

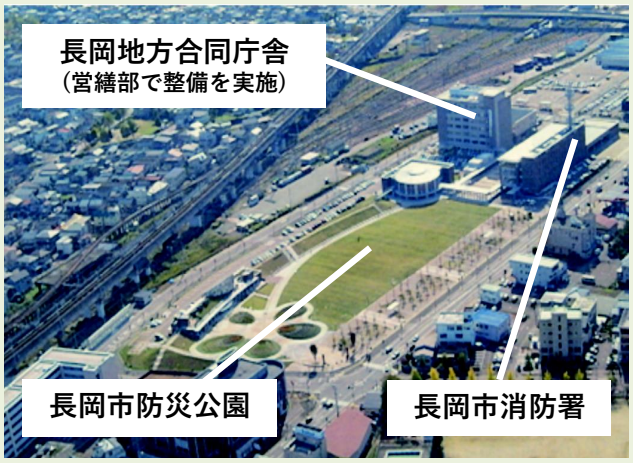
整備事例

長岡防災シビックコア地区（新潟県長岡市）

長岡市では、中心市街地の活性化及び防災機能の拠点としてシビックコア地区制度を活用した整備を行いました。

地区形成の基本方針に「日常的な賑わいが感じられる交流拠点の形成」を掲げ、魅力と賑わいの市民交流の拠点形成を目指しました。

また、消防本部や防災センター、防災公園などの一体的整備により、災害時には市民の「安心・安全を支える」防災拠点となります。



▲　長岡防災シビックコア地区（写真提供：長岡市）

景観配慮

国土交通省では、その土地の歴史、風土、気候、景観条例等を把握し、景観や地域との調和に十分配慮し、官庁施設の整備を行っています。

整備事例

村上簡易裁判所（新潟県村上市）

村上市の歴史的町並みと調和する入母屋造りの外観や、周辺地域の色彩イメージと調和する配色としました。

発注者支援に関する取組

国土交通省では、公共建築に関する技術的な相談を受け付けるための窓口を、国土交通本省をはじめ、全国の地方整備局や営繕事務所等に統一的に設置し、公共建築に関するあらゆる相談を受け付けています。

主な相談内容

企画立案、事業実施（設計、積算、入札手続き、工事監理）、保全、官庁営繕に関する技術基準の運用、働き方改革など

情報提供可能な直轄営繕工事の取組

適切な予定価格の設定方法、適切な工期設定の考え方、適切な設計変更、施工時期の平準化など

働き方改革・生産性向上

営繕部では、発注者の立場から建設現場の働き方改革を後押しする取組を行っています。令和６年４月から、建設業に時間外労働の罰則付き上限規制が適用されたことを踏まえ、週休２日の推進や書類の簡素化など働き方改革に向けた取組を一層推進しています。また、インフラ分野のDX（デジタルトランスフォーメーション）の実現に向けて、ICTの積極的な活用による建設現場の更なる生産性向上を目指す取組を実施しています。

■ 週休2日の推進

建設工事従事者の週休2日の確保に向けて、営繕工事において、工事期間通期での週休2日を必須とした上で、更に月単位の週休２日の実現にむけ、労務費の補正などの発注上の取組を行っています。

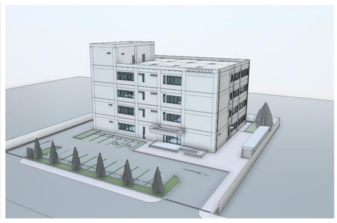
■ 適切な工期設定

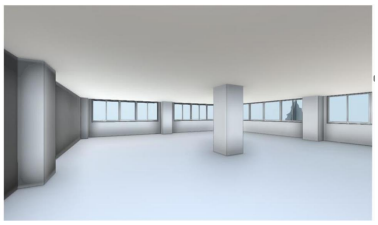
適正な工期設定を行い、後工程（内装工事、設備工事、舗装工事等）にしわ寄せが生じさせないよう配慮しています。また、全ての工事において「猛暑による作業不能日数」を考慮した工期設定を行っています。

■ BIMの取組

BIM（Building Information Modeling）とは、３次元の形状情報に加え、室等の名称・面積、材料・部材の仕様・性能、仕上げ等、建築物の属性情報を併せ持つ建物情報モデルを構築することです。BIMの活用により、設計業務及び工事の品質の確保及び事業の円滑化を図り、これらを通じて生産性の向上に資することが期待されています。

営繕部では、新営の設計業務や空調設備改修工事において、BIM活用の試行を行っています。





▲ 建築物の外観及び内観の検討例

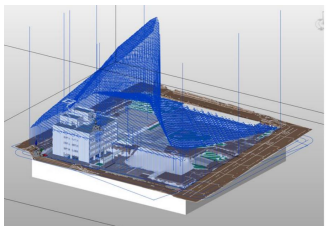
BIM活用の効果

■ 設計内容の可視化

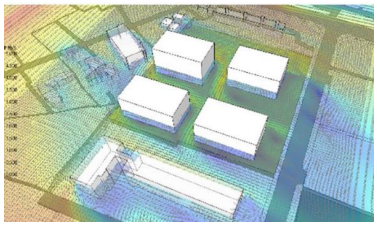
分かりやすさの向上 ▶ 合意形成に有効

■ 建物情報の一元化・統合化

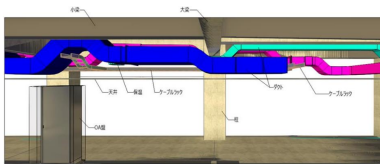
整合性の確保 ▶ 手戻りのリスク回避



▲ 建築可能範囲の検討例



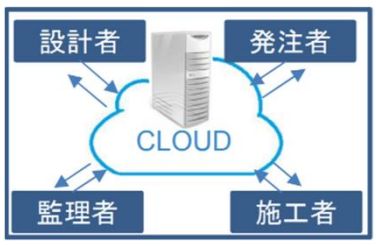
▲ 風環境の検討例



▲ 干渉チェックの検討例

■ ICTの活用

営繕部では、工事において情報共有システムを活用し書類の電子化、書類提出・整理時間の短縮、情報の迅速な共有等を図っています。



◀ 情報共有システムのイメージ

省人化や写真整理時間短縮のため、工事写真撮影の際に配置する撮影状況を描いた黒板を電子化した電子小黒板を全ての工事で活用しています。

◀ 電子小黒板を活用した工事写真

PFIへの取組

PFI(Private Finance Initiative)とは、公共施設等の建設、維持管理、運営等を民間の資金、経営能力及び技術的能力を活用して行う手法です。民間事業者のノウハウを活用すること、官民が適切に役割を分担し、効率的に事業全体のリスク管理が行われること等により、より効率的かつ効果的に公共サービスが提供されることが期待されます。

北陸地方整備局営繕部では、PFI方式により富山県警察学校（富山県富山市）を整備しています。

▲ 富山県警察学校 全景

▲ 富山県警察学校 体育館及び生徒寮

▲ 富山県警察学校 本館

TEC-FORCE

国土交通省緊急災害対策派遣隊「TEC-FORCE（テックフォース）」は、大規模な自然災害時に、被害状況の迅速な把握、被害の発生及び拡大の防止、被災地の早期復旧などに取り組み、地方公共団体を支援します。

営繕部では災害発生時に、各省各庁に対して、官庁施設の被災状況調査に係る技術的支援を行うとともに、各自治体からの要請を受け、被災した自治体庁舎の被災状況調査や、建築物の使用可否を応急的に判断する「被災建築物応急危険度判定」を実施するため、TEC-FORCEとして職員派遣を行っています。

令和６年１月１日に発生した令和６年能登半島地震においても、営繕部及び金沢営繕事務所から職員を派遣し、自治体庁舎の被災状況調査や被災建築物応急危険度判定の支援を行いました。

令和６年能登半島地震におけるTEC-FORCE活動

応急危険度判定調査 ▶

自治体庁舎の
被災状況調査 ▶

営繕部の職員

建築

小林 峻（平成25年入省）

営繕部　計画課　事業適正化係長

現在の仕事内容は？

営繕事業の企画・立案、国土交通本省や他省庁との事業に関する調整などを担当しています。また、防災業務にも携わっています。

仕事の魅力は？

担当する事業の完了までには多くの関係者との調整が必要であり、苦労もありますが、施設が完成した際には大きな達成感を感じます。

また、長きに渡り地域に貢献していく建物に携われることにすごく魅力を感じています。

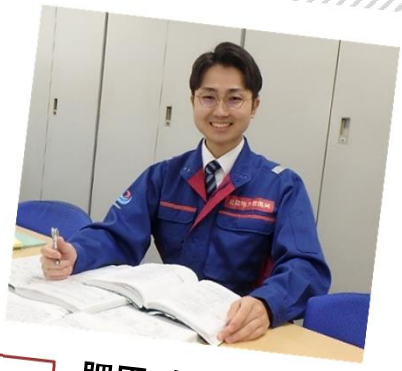
印象に残っている仕事は？

初めて設計を担当した庁舎新築のプロジェクトです。自分の育った地元の案件に携われたことがとても印象に残っています。

今でも施設周辺を通る度に当時を思い出します。

入省希望者へのメッセージ

国の機関が利用する施設の整備をする仕事です。初めて携わる仕事は、わからないことばかりで戸惑うかもしれませんが、相談しやすい環境と組織でサポートする体制が揃っているので安心してください。ぜひ一緒に魅力的な街づくりをしましょう。



建築

肥田 大輝（令和4年入省）

営繕部　整備課　建築審査係

現在の仕事内容は？

先輩職員の指導のもと、建築の担当として設計図の作成や工事費の算出を行なっています。また、図面や法令に従って工事が行われているか、監督として確認を行なっています。

入省のきっかけは？

多くの人を支える場となる公共施設の営繕に携わるため公務員を目指しました。公共建築分野の最先端で活躍し、私の地元である新潟県だけでなく他県でも仕事ができることに興味を持ち、入省を決めました。

職場の雰囲気は？

優しく頼もしい先輩が沢山おり、困った時に相談しやすい雰囲気です。若手でも自分の意見を積極的に出すことができるので、営繕部一丸となって仕事に取り組んでいると感じます。

入省希望者へのメッセージ

多種多様な官庁施設を対象に、企画から保全まで様々な仕事に携わるので、日々新しい仕事に挑戦できます。

若手職員向けの勉強会も充実しています。営繕に興味がある皆さん、ぜひ一緒に働きましょう！

建築

栗原 優佳（令和3年入省）

信濃川河川事務所　施設管理課

現在の仕事内容は？

土木営繕として、北陸地方整備局の事務所が行う建築物の整備に携わっています。現在は、主に公園や道の駅、事務所の庁舎・宿舎などの新築・改修に関する設計や積算の業務を担当しています。

入省のきっかけは？

公務員の建築職の仕事を探す中で、国家公務員や北陸地方整備局の仕事を知りました。官庁訪問を通して、多種多様な施設や、地元を含めた北陸の広い地域に携われる点に魅力を感じて、入省を決めました。

職場の雰囲気は？

少人数で和気藹々とした職場です。上司とのコミュニケーションもとりやすく、業務で分からないことなども気軽に相談できます。

入省希望者へのメッセージ

研修や若手勉強会だけでなく、上司や先輩のサポートもあるため営繕の知識がなくても心配ありません。

産休や育休などを取得しながら活躍している方もいるので、女性でも安心して働けます。ぜひ、一緒に働きませんか？

電気

柴山 浩（平成7年入省）

営繕部　整備課　営繕設計審査官

現在の仕事内容は？

国の建築物の照明や通信などの電気設備における設計図面作成、工事費の算出、工事の監督などを主に行っています。

仕事の魅力は？

担当した建築物が完成し、施設を利用する職員や来庁者に喜んでもらえた時には、設計や工事で苦労した分だけ達成感があります。

印象に残っている仕事は？

入省1年目に設計担当として携わった新築の事業で、過去の図面を参考にしたり、上司や先輩に相談したりしながら、苦労して図面を作成した時の印象が深く残っています。

入省希望者へのメッセージ

電気の仕事といえば、発電所や周りでもすぐ目に入る電柱や電線などを思いがちですが、建築物に電気設備が無ければ、快適に建物を使用することはできません。

そのための仕事を是非一緒にやりましょう。

現在の仕事内容は？

公共建築物の空調設備、給排水衛生設備など建築設備に関する「設計」「積算」、工事の「監督」、「工事検査」の業務です。入居官署の職員や来庁者の方々が利用しやすい施設を目指して業務を進めています。

入省のきっかけは？

以前の職場では、工事受注者として建築設備の工事を担当していました。40歳間近となり、キャリアアップと、これまでの経験を地域貢献に活かすため入省を決めました。

職場の雰囲気は？

入省前は、公務員は堅い方が多いイメージでしたが、皆さんとても話やすく、相談などもしやすい雰囲気です。

機械

石川 裕（令和3年入省）

営繕部　技術・評価課　技術審査係長

経験者採用

入省希望者へのメッセージ

新卒・経験者採用などで入省を考えている方、不安もあると思いますが、まず1歩を踏み出してみませんか？

その1歩を上司や諸先輩方が2歩、3歩と後押ししてくれるようなサポートやフォローをしてくれます。

新しいスタートをここから始めて一緒に働きましょう！

スキルアップ・研修制度

若手勉強会・現場見学会

▲　現場見学会の様子

若手勉強会では、営繕の各分野の基礎的な知識について、上司から熱い講義を受けます。

現場見学会では、施工中の現場、または完成した建物の見学に行き、現場で施工のポイントなどを学びます。

基礎研修（営繕初級）・専門研修（営繕中級）

▲　研修の様子

東京にある国土交通大学校にて、他の地方整備局営繕部の同期と共に、専門分野に特化した内容を学ぶ機会があります。

全国の同期と親睦を深めることができます。

その他、1年目の職員向けの研修として、新規採用職員研修、国土交通行政（初級）研修などがあります。

施設整備事例

合同庁舎・一般庁舎

新潟美咲合同庁舎1号館、2号館（新潟県新潟市）

小松日の出合同庁舎（石川県小松市）

富山労働総合庁舎（富山県富山市）

新潟税関支署東港出張所（新潟県聖籠町）

松任税務署（石川県白山市）

高岡公共職業安定所（富山県高岡市）

佐渡海上保安署（新潟県佐渡市）

下越森林管理署村上支署（新潟県村上市）

その他施設

石川運輸支局（石川県金沢市）

野生トキ観察施設（新潟県佐渡市）

村上簡易裁判所（新潟県村上市）

新潟県警察機動隊（新潟県新潟市）

福島潟鳥獣保護区管理観察棟（新潟県新潟市）

妙高青少年自然の家（新潟県妙高市）

厚生労働省米山宿舎（新潟県新潟市）

国土交通省 北陸地方整備局 営繕部
（新潟美咲合同庁舎1号館）

〒950-8801 新潟市中央区美咲町1丁目1番1号
TEL：025-280-8880（代表）
FAX：025-370-6504
HP ：http://www.hrr.mlit.go.jp/eizen/index.html

国土交通省 北陸地方整備局 金沢営繕事務所
（金沢駅西合同庁舎）

〒920-0024 石川県金沢市西念3丁目4番1号
TEL：076-263-4585
FAX：076-231-6369
HP：http://www.hrr.mlit.go.jp/kanazawaeizen/

金沢営繕事務所
@mlit_kanaeizen